

## 緊急カテーテル介助のシミュレーション内容の評価

【目的】当院では心臓カテーテル検査・治療（以下心カテ）介助を病棟業務の一環としている。介助指導後のアンケート調査には「緊急カテーテル検査・治療（以下緊カテ）の対応」への懸念が含まれていた。そこで、緊カテ時の正確かつ迅速な物品準備を目的としてシミュレーションを実施、その内容について検証した。【方法】心カテ介助経験3年未満の看護師9名に対し、緊カテ介助のシミュレーション・評価（50点満点で採点）・指導を月に1回、連月で2回実施した。1回目終了時に模範解答を渡し、2回目終了時に記述式アンケート調査を実施した。【結果】1）評価結果：1回目平均24点、2回目平均39点だった。総じて、不十分だった患者受入れ準備・緊急処置（DC・IABP）や特殊デバイス（血栓吸引カテ）への対応が良好となった。2）アンケート結果：緊急に特化したシミュレーションは有用で、不安の軽減・精神的余裕にも繋がる。定期開催の希望。基礎的知識のレクチャーや実際に模したデモンストレーションの要望。【結論・考察】2回目に点数が増加し、緊カテ時の正確かつ迅速な物品準備に向けて一定の効果があった。さらに緊急時を想定したイメージトレーニングによる実践での心理的効果も期待される。今回は個々の物品のみを対象としたため、カテ室内での動線を把握することはできなかった。緊急時に効率良く介助をするためには実践的なシミュレーションも必要である。臨床工学技士、放射線技師の協力も必要であり今後はチーム医療を意識したシミュレーションを実施していきたい。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号 演題番号